

官宅拂下ノ事上申

官宅拂下ノ事上申

明治九年三月三日

ヨリ別紙規則ニ通施行候條此段上申候也

醫士奉西月書

長官長官長官

太政大臣三條實美殿

官宅拂下規則

第壹條

本廳下在來ノ官宅望ノ者一別紙代價ヲ以拂下可相成
ニ付家作並地所トモ繪圖面相添保証人連署ニ區戸長
與印ノ願書差出スヘシ代價ハ拂下ノ月ヨリ向三於六
ヶ月ヲ限り無利足月賦ヲ以テ上納可致事

第貳條

使負ノ内ニテ望無之官宅ハ市民ト雖氏拂下クヘキ事

第三條

保証人ハ使負ナレハ本人ヨリ二等ヲ下ラサル等級ノ
モノタルヘシ市民ナレハ當使貫籍ニシテ身代相應ノ
者ニ非レハ保証スルヲ許サス區戸長ハ篤ト身元取調

用石使

ノ上奥印ヲナスヘシ尤モ相互ノ保証ハ相成ラサル事

第四條

拂下ノ上代價皆納セサル内ハ質入書入トナスヲ許サ
ス若シ他人ヘ譲渡ス時ハ双方願書ヲ出シ許可ヲ受ク
ヘキ事

但許可ヲ受ケスニテ私ニ讓渡ヲ為ス時ハ其効ナキ
トスヘシ

第五條

拂下代價上納期限中自ラ失火ノ災ニ罹ル者ハ都テ上
納可致事

但類焼等ノ災害ニ逢フ者ハ臨機ノ詮議ヲ以テ處分
スヘシ

第六條

拂下代價皆納セサル内家作模様替並建坪ヲ減少スル
等一切相成サル事

但些少ノ模様替タリトモ時々伺濟ノ上普手スヘシ

第七條

官宅敷地並附屬地夥多有之分ハ寺坪金三錢ノ割ヲ以
拂下爾志檜山濱益雨龍通假官邸ハ地所規則上等ノ代
價ヲ以テ官邸拂下代價ヘ組入月賦上納スヘキ事

第八條

本人願ニ寄り月賦ノ内一ケ年分或ハ半額一時上納ヲ
爲スルハ年六朱ノ割ヲ以テ利子ヲ加ヘ上納金額ヨリ
割戻スヘキ事

第九條

月賦上納三ヶ月以上遲滞スルハ家作糶賣ノ上不足

ハ本人ヨリ辨償致サセ若贏餘アラハ本人ニ下附スヘキ事

右之通相定候事

明治九年九月

開

願書式 用紙

官宅御拂下願書

今般官宅望ノ者一御拂下可相成旨御達ニ付何私誰拜
借罷在候何通何辨官宅何番御拂下奉願度代金ノ義ハ
御規則ノ通上納可仕家作繪番面相添保証人連印此段
奉願候也

保証人

何局

年月日

官姓名印

同市民ナレハ

第一區小何區何通何番地永住

何ノ誰印

用石使

關抄印

願人

官姓名印

宛

奧書

區戶長印

願書式 半用紙

地所御拂下願書

今般官宅敷地共御拂下可相成旨御達二付何私、誰拜借
罷在候何通何何番、何號地所御拂下奉願度代金、義ハ
御規則、通上納可仕繪圖面相添保証人連印此段奉願
候也

保証人

何司

年月日

官姓名印

同市民トシ

第一區小何區何通何番地永住

何ノ誰印

關抄印

關 押 印

願人

官 姓 名 印

宛

奧書

區 戶 長 印

書記官

立寄馬津田善行調

記錄課

乙卯九月廿五日

東長教歸任癸程ノ義御届

札幌在勤准陸軍少尉東長教御用有之滞京ノ義
乙第八拾号ヲ以及御届置^候慶御用濟今十六日歸
任ト^リテ当地癸程^候条此段御届仕候也

明治三年八月十六日

開拓長官黒田清隆

太政大臣三條實美殿